

モリエル・ホーム（2015年4月30日）より

霊を試す（サンディ・シンプソン師）

聖書を信じると主張する牧師のような人が、なぜ真理を聞き入れることを拒絶するのか、私は時々、本当に疑問に思うことがあります。率直に言って理解に苦しみます。それがポストモダニズムの方法論の結果なのか、真理に対する愛が無くなってしまっただけなのかは分かりません。真に新生した人に、どうしてそのようなことが起こりうるのか、私にはわかりません。聖霊がそのような人々に、初めは良心に、最終的には書かれたみことばを通して、真理を明らかにしてくださるだろうと思われる方もいらっしゃるでしょう。しかし、今日では、そこまで到達することは奇跡なのです。良心があまりにも麻痺してしまい、聖霊の御声が聞こえないのか、真理を知ると責任を持たなければならないので、知りたくないと思うのかはわかりません。私にわかるのは、彼らが真理を拒絶し、偽りの教えについての話題を拒む動機も理由もわからないということです。しかし、一つだけわかっていることがあります。それは、私たちは本物の信者として、霊を試すように命じられているということです。その結果が気に入らなくても、どうしてそうなのか訳が分からなくても、そうしなければならないのです。

Iヨハネ4:1

愛する者たち。霊だからといって、みな信じてはいけません。それらの霊が神からのものかどうかを、ためしなさい。なぜなら、にせ預言者がたくさん世に出て来たからです。

この御言葉から、偽りの預言をする人物の背後には霊がいると理解できます。また、神からの本当の預言は、未来を語るだけでなく、正しく教えることでもあるとわかります。聖霊に教えられた内容に基づいて神のみことばを正確に解釈する人は、説教であれ、教えであれ、証であれ、将来を語ることであれ、預言していることになります。ですから先の聖句は、使徒・預言者・伝道者・教師また説教者を自認するすべての人に当てはまるのです。おわかりになると思いますが、Iヨハネ4:1は、神が肉体を取って来られたことを認めているか認めていないかに関わらず、特定の状況においてイエス様のことを語る人々について述べています。けれども、もう少し深く考えてみるなら、この概念は、イエス・キリストの御人格を引き下げようなどんなことにも当てはまります。つまり、三位一体、神・人としてのキリストの2元的性質、救い、再臨、聖書の権威と無誤謬性などの根本的教理を否定するようなあらゆることに当てはまると気付くでしょう。ですから、霊を試すことは、私たちが本当に真理の御霊を持つ人々と交わっているかどうかを検証する上で、重要なことなのです。

ヨハネ 16：13

しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。

新生し、本当に信じた時に聖霊を受けた人々は、真理である御霊を受けています。聖霊はイエス・キリストの御霊です。キリストの御霊を持つ人はキリストに属し、「すべての真理」に導いて下さる真理の御霊を持っています。

ローマ 8：9

けれども、もし神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら、あなたがたは肉の中にではなく、御霊の中にいるのです。キリストの御霊を持たない人は、キリストのものではありません。

イエス・キリストが道であり、真理であり、いのちなのです（ヨハネ 14：6）。クリスチャンと称しながら偽りの人生を続ける者は、真理の御霊によって歩んでいないことが明らかです。その人々は、自分に臨んだ霊が偽りの霊、間違った霊だったため、自分自身を欺いてしまったのです。

I ヨハネ 4：6

私たちは神から出た者です。神を知っている者は、私たちの言うことに耳を傾け、神から出ていない者は、私たちの言うことに耳を貸しません。私たちはこれで真理の霊と偽りの霊とを見分けます。

もし、クリスチャンと自称しながら真理に耳を傾けない、あるいは真理に関心を持たない人を見つけたなら、あなたはすでに彼らを試したのであり、その結果、彼らは間違った霊を持っていると証明されてしまったのです。私たちは彼らが悔い改めるように祈りつつ（マタイ 5：44）、彼らを戒めたり（テトス 3：10）、厳しく戒めたりする（テトス 1：13、テモテ 2：25）ように命じられています。

西洋のクリスチャンは、うそつきや偽教師の霊的状态についてあまり考えません。それは、この世に傾倒し、霊的世界の影響力をほとんど無視する西洋的なパラダイムのためです。しかしヨハネは、偽教師の背後には霊がいるということに気づかせてくれます。悪霊は、信じている嘘を信じ続けるように、あるいは真理が明らかにされても受け入れないように仕向ける霊です。偽教師たちは、自分が誰のために働いているのか、誰に反対して働いているのかさえ理解していないかもしれません。しかしパウロは、主のしも

べに変装した嘘つきたちの背後には、彼らの主人であるサタンがいると教えています。

Ⅱ コリント 11：12～15

しかし、私は、今していることを今後も、し続けるつもりです。それは、私たちと同じように誇るところがあるとみなされる機会をねらっている者たちから、その機会を断ち切ってしまうためです。こういう者たちは、にせ使徒であり、人を欺く働き人であって、キリストの使徒に変装しているのです。しかし、驚くには及びません。サタンさえ光の御使いに変装するのです。ですから、サタンの手下どもが義のしもべに変装したとしても、格別なことはありません。彼らの最後はそのしわざにふさわしいものとなります。

気が進まないかもしれませんが、この件に関して、クリスチャンは聖書的判断基準を持たなければなりません。偽教師・偽預言者・偽使徒などは、キリストの目的ではなく敵の目的を促進しているのです。ですから、彼らを戒め、もし彼らがそれを止めず、悔い改めることを拒否するなら、彼らを拒否し、避けるように命じられているのです。

テトス 3：10

分派を起こす者は、一、二度戒めてから、除名しなさい。

異端者とは、ペテロによると、真理の横に誤りを置き、密かに破壊的な異端をもたらす人物のことです。

Ⅱ ペテロ 2：1

しかし、イスラエルの中には、にせ預言者も出ました。同じように、あなたがたの中にも、にせ教師が現れるようになります。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込み、自分たちを買い取ってくださった主を否定するようなことさえして、自分たちの身にすみやかな滅びを招いています。

クリスチャンは、偽りの福音説教者を拒絶すべきです。彼らは主から咎められているからです。

ガラテヤ 1：8～9

しかし、私たちであろうと、天の御使いであろうと、もし私たちが宣べ伝えた福音に反することをあなたがたに宣べ伝えるなら、その者はのろわれるべきです。私たちが前に言ったように、今もう一度私は言います。もしだれかが、あなたがたの受けた福音に反することを、あなたがたに宣べ伝えているなら、その者はのろわれるべきです。

教理的土台を築いた使徒パウロでさえ、自分の教えを聞いている人に、自分が神の書かれた御言葉に反したことを教えていないか試すように勧め、教える者は「書かれていることを超える」べきではないと述べています。

使徒 17：11

ここ（ベレヤ）のユダヤ人は、テサロニケにいる者たちよりも良い人たちで、非常に熱心にみことばを聞き、はたしてそのとおりかどうかと毎日聖書を調べた。

I コリント 4：6

さて、兄弟たち。以上、私は、私自身とアポロに当てはめて、あなたがたのために言って来ました。それは、あなたがたが、私たちの例によって、「書かれていることを越えない」ことを学ぶため、そして、一方にくみし、他方に反対して高慢にならないためです。

信仰者はいつも見分けなければなりません。

ピリピ 1：9～11

私は祈っています。あなたがたの愛が真の知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、あなたがたが、真にすぐれたものを見分けることができるようになりますように。またあなたがたが、キリストの日には純真で非難されるところがなく、イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされている者となり、神の御栄えと誉れが現わされますように。

箴言 15：14

悟りのある者の心は知識を求め、愚かな者の口は愚かさを食いあさる。

箴言 17：24

悟りのある者はその顔を知恵に向け、愚かな者は目を地の果てに注ぐ。

箴言 18：15

悟りのある者の心は知識を得、知恵のある者の耳は知識を求める。

箴言 28：7

おしえを守る者は分別のある子、放蕩者と交わる者は、その父に恥ずかしい思いをさせる。

箴言 3：21

わが子よ。すぐれた知性と思慮とをよく見張り、これらを見失うな。

私たちは、もはやモーセ律法には縛られていませんが、キリストの律法の下におり、

その愛の律法を、聖霊が心に書き記して下さっています。

マタイ 22：37～40

そこで、イエスは彼に言われた。「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』これがたいせつな第一の戒めです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。律法全体と預言者とが、この二つの戒めにかかっているのです。」

ガラテヤ 5：14

律法の全体は、「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」という一語をもって全うされるのです。

ヘブル 10：16

「それらの日の後、わたしが、彼らと結ぼうとしている契約は、これであると、主は言われる。わたしは、わたしの律法を彼らの心に置き、彼らの思いに書きつける。」またこう言われます。

何故、御言葉に照らして教えを試すのでしょうか？…なぜなら、私たちは健全な教理にとどまり、信仰を守り、預言者と使徒、イエス・キリストの教えに従うように命じられているからです。

Ⅱ テモテ 4：3

というのは、人々が健全な教えに耳を貸そうとせず、自分につごうの良いことを言ってもらうために、気ままな願いをもって、次々に教師たちを自分たちのために寄せ集め、

テトス 1：9

教えにかなった信頼すべきみことばを、しっかりと守っていなければなりません。それは健全な教えをもって励ましたり、反対する人たちを正したりすることができるためです。

テトス 2：1

しかし、あなたは健全な教えにふさわしいことを話さない。

偽教師はうそつきであり、健全な教えにとどまっていません。

Ⅰ テモテ 1：10

不品行な者、男色をする者、人を誘拐する者、うそをつく者、偽証をする者などのため、またそのほか健全な教えにそむく事のためにあるのです。

多くの偽預言者が世に出て行ったので、私たちはあらゆる霊を試すようにと主から警告されています。どのようにして霊を試すのですか？ 彼らの教え、預言している内容を御言葉と比較し、また、御霊の実を結んで生活しているかどうかを試すのです。どのようにしたらそれができますか？ 全てのことを適切に試すためには、まず私たちがキリストに倣う者でなければなりません。

ローマ 12：2

この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまを知るために、心の一新によって自分を変えなさい。

Ⅱコリント 13：5

あなたがたは、信仰に立っているかどうか、自分自身をためし、また吟味しなさい。それとも、あなたがたのうちにはイエス・キリストがおられることを、自分で認めないのですか——あなたがたがそれに不適格であれば別です。——

その上で、自分自身の言葉と行いをためし、信仰と健全な教えにとどまっているかを確認します。

ガラテヤ 6：4

おのおの自分の行いをよく調べてみなさい。そうすれば、誇れると思ったことも、ただ自分だけの誇りで、ほかの人に対して誇れることではないでしょう。

どの程度まで試せば良いのでしょうか？ すべてです。

I テサロニケ 5：21

しかし、すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい。

試す必要があるなら、同様にさばく必要もありますか？ もちろんですが、さばき過ぎてはいけません（マタイ 7：1）。言い換えると、もし誰かをさばくなら、同じことをしている自分をさばくようにさばくということです。誰かが救われるかどうかを最終的にさばくのは私たちではありません。けれども、人々が教え、預言していることをさばくべきです。パウロは真の土台となった使徒でしたが、自分の話を聞いている人々に、自分が語っていることをさばくように命じました。

I コリント 10：15

私は賢い人たちに話すように話します。ですから私の言うことを判断してください。

私たちは適切にさばくことを今、学ばなければなりません。なぜなら、いつの日か、キリストとともに世界と御使いをさばくようになるからです。

I コリント 6 : 2~3

あなたがたは、聖徒が世界をさばくようになることを知らないのですか。世界があなたがたによってさばかれるはずなのに、あなたがたは、ごく小さな事件さえもさばく力がないのですか。私たちは御使いをもさばくべき者だ、ということを知らないのですか。それならこの世のことは、言うまでもないではありませんか。

私たちは主から、教会内部の者たちをさばくように言われています。外部の者は神がさばかれるからです。私たちは異端者を拒絶し、悪者を信者の集会から追い出さなければなりません。なぜなら、もしその者たちが留まることを許されるなら、彼らのパン種が塊全体をふくらませることになるからです。

I コリント 5 : 12~13

外部の人たちをさばくことは、私のすべきことでしょうか。あなたがたがさばくべき者は、内部の人たちではありませんか。外部の人たちは、神がおさばきになります。その悪い人をあなたがたの中から除きなさい。

私たちは、預言が実現しているか、聖書的であるかを試すべきです。将来を預言し、主から聞いたと主張する真の預言者は、100%正確です。なぜなら霊とまことによって神を礼拝し、真実を語るからです。私たちは偽預言者を拒絶し、信者の集会から取り除かなければなりません。

申命記 13 : 1~5

あなたがたのうちに預言者または夢見る者が現れ、あなたに何かのしるしや不思議を示し、あなたに告げたそのしるしと不思議が実現して、「さあ、あなたが知らなかったほかの神々に従い、これに仕えよう」と言っても、その預言者、夢見る者のことばに従ってはならない。あなたがたの神、主は、あなたがたが心を尽くし、精神を尽くして、ほんとうに、あなたがたの神、主を愛するかどうかを知るために、あなたがたを試みておられるからである。あなたがたの神、主に従って歩み、主を恐れなければならない。主の命令を守り、御声に聞き従い、主に仕え、主にすがらなければならない。その預言者、あるいは、夢見る者は殺されなければならない。その者は、あなたがたをエジプトの国から連れ出し、奴隷の家から贖い出された、あなたがたの神、主に、あなたがたを反逆させようとそそのかし、あなたの神、主があなたに歩めと命じた道から、あなたを迷い出させようとするからである。あなたがたのうちからこの悪を除き去りなさい。

旧約聖書で、信者の集会から悪人を追い出しなさいと教えているその同じ警告を、パウロが I コリントで繰り返しています。

偽預言者も、預言が実現した良い実績を持っているかもしれませんが、決して 100% 正確ではありません。しかしながら、人々をだまして、そのように思い込ませることができるかもしれません。そのような時に教えについてのテストが必要になり、見分けるための最初のテストとして教えを試す理由もそこにあります。預言者の中には本当に素晴らしく見える人がいますが、もし異端的な教えをしているなら、それは、あなたが「心を尽くして主を愛する」かどうかを見るための神様のテストです。ヨハネは、私たちが主を愛するなら、主の命令に従うはずであると教えました（ヨハネ 14：21、ヨハネ 15：10、I ヨハネ 5：2～3、II ヨハネ 1：6）。聖書は、教えと預言と実を試し、見分け、さばくように繰り返し命じています。私たちは悔い改めない異端者を拒絶しなければなりません。この点で主に従わなければ、私たちが本当は主を愛していないのだと証明していることとなります。

申命記 18：20

ただし、わたしが告げよと命じていないことを、不遜にもわたしの名によって告げたり、あるいは、ほかの神々の名によって告げたりする預言者があるなら、その預言者は死ななければならない。

今日、偽預言者を死なせることはしませんが、その偽預言者の前から自分が身を引くべきです。

申命記 18：22

預言者が主の名によって語っても、そのことが起こらず、実現しないなら、それは主が語られたことばではない。その預言者が不遜にもそれを語ったのである。彼を恐れてはならない。

偽預言者は異なる霊を持つ嘘つきなので、私たちは彼らが預言していることを「恐れ」たり、不安になったりする必要はありません。主が、偽預言をする者たちに敵対しておられます。

エレミヤ 23：32

見よ。わたしは偽りの夢を預言する者たちの敵となる。——主の御告げ——彼らは、偽りと自慢話をわたしの民に述べて惑わしている。わたしは彼らを遣わさず、彼らに命じもしなかった。彼らはこの民にとって、何の役にも立ちはしない。——主の御告げ——

エレミヤ 27 : 15

「わたしは彼らを遣わさなかったのに、——主の御告げ——彼らは、わたしの名によって偽りを預言している。それでわたしはあなたがたを追い散らし、あなたがたも、あなたがたに預言している預言者たちも滅びるようにする。」

偽預言者に従う者は、さばきをも共に受けることになります。

エレミヤ 5 : 31

預言者は偽りの預言をし、祭司は自分かつてに治め、わたしの民はそれを愛している。その末には、あなたがたは、どうするつもりだ。」

エレミヤ 23 : 31

見よ。——主の御告げ——わたしは、自分たちの舌を使って御告げを告げる預言者たちの敵となる。

エゼキエル 13 : 9

わたしは、むなしい幻を見、まやかしの占いをしている預言者どもに手を下す。彼らはわたしの民の交わりに加えられず、イスラエルの家の籍にも入れられない。イスラエルの地にも入ることができない。このとき、あなたがたは、わたしが神、主であることを知ろう。

偽りの預言を聞くことさえしてはいけません。

エレミヤ 23 : 16

万軍の主はこう仰せられる。「あなたがたに預言する預言者たちのことばを聞くな。彼らはあなたがたをむなしいものにしようとしている。主の口からではなく、自分の心の幻を語っている。

偽預言者は、主の夢や幻を見た、あるいは主からの夢や幻を見たと主張する者たちのこともよくあります。

エレミヤ 23 : 25

わたしの名によって偽りを預言する預言者たちが、『私は夢を見た。夢を見た』と言ったのを、わたしは聞いた。

エレミヤは主から、偽預言者の手口について教えられましたが、結論から言うと、偽預言者らは実際に神様と語り合っているわけでも、真理の御霊によって歩んでいるわけでもありません。

エレミヤ 14 : 14

主は私に仰せられた。「あの預言者たちは、わたしの名によって偽りを預言している。わたしは彼らを遣わしたこともなく、彼らに命じたこともなく、語ったこともない。彼らは、偽りの幻と、むなしい占いと、自分の心の偽りごとを、あなたがたに預言しているのだ。

偽預言をもたらすこの3つの手口は、間違いなく別の霊と繋がっています。偽りの幻は敵が人々を惑わすための方法で、その幻を受けた人がまた他の人々を惑わすことになります。

Ⅱ テモテ 3 : 13

しかし、悪人や詐欺師たちは、だましたりだまされたりしながら、ますます悪に落ちて行くのです。

嘘つきどもは、嘘というパン種で他の人の嘘をふくらませていくことになります。占いは、神様から然るべき方法でメッセージを受け取ったと主張する現代の多くの偽預言者が使っている方法です。これは、誤りの霊が人々をだまして、その偽預言者が神から聞いているのだと思わせることのできるもう一つの手口です。

エゼキエル 22 : 28

その町の預言者たちは、むなしい幻を見、まやかしの占いをして、しっくいの上塗りをして、主が語られないのに『神である主がこう仰せられる』と言っている。

さらに、墮落した御使いや導く霊に自分を捧げてしまい、それらを礼拝する者もおり、…また、マリアの出現のような偽物の出現を世界中で追いかけている者もいます。しかし偽預言は、自分自身を欺いている人から出ることもあります。ですから、単に自分を欺いているだけの人か、別の霊に惑わされている人かを確かめてみる必要があります。

また、真理の御霊か誤りの霊かを試すために、実を試すことを適用しなければなりません。

マタイ 7 : 15~20

にせ預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊のなりをしてやって来るが、うちは貪欲な狼です。あなたがたは、実によって彼らを見分けることができます。ぶどうは、いばらからは取れないし、いちじくは、あざみから取れるわけがないでしょう。同様に、良い木はみな良い実を結ぶが、悪い木は悪い実を結びます。良い木が悪い実をならせること

はできないし、また、悪い木が良い実をならせることもできません。良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込まれます。こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです。

最終的なテストとして、どの教師も預言者も、言葉と行いをガラテヤ5：18～25に書かれた御霊の実に照らし合わせてみることです。気を付けていただきたいのは、上記マタイの御言葉は、今日ほとんどの「クリスチャン」が、全く裁いてはいけないことを証拠立てようとして引用するマタイ7：1の直後に書かれていることです。読み進めるなら、「さばいてはいけない」は、どんな状況にも当てはまるわけではないと気付くでしょう。聖書には、どのような場合にさばくのか、どのような場合にさばかないのかについて、特別な基準があります。実を判断する上で、ガラテヤ5：18～25に書かれている、御霊の実とは正反対の行為の一覧を見ることも役に立つでしょう。もし誰かが一度でも偽りの預言をしたなら、その人は占いか偽りの幻を使っているのかもしれませんが。その人々は支持者を集め、自分を売り込み、名声を勝ち取ろうとしていますか？ それなら「利己的野心」を持っているのかもしれませんが。「御霊に酔うこと」を勧めていますか？ それは「酩酊」という罪です。悪質な金集め策で貧しい人々からはぎ取っているなら、親切という実はありません。もし彼らの集会に、興奮という現象が出ているなら、平安や自制という実は無いです。もし彼らがうぬぼれた嘲る者なら、柔和という実を持っていません。

ガラテヤ5：18～25

しかし、御霊によって導かれるなら、あなたがたは律法の下にはいません。肉の行いは明白であって、次のようなものです。不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、酩酊、遊興、そういった類のものです。前にもあらかじめ言ったように、私は今もあなたがたにあらかじめ言うておきます。こんなことをしている者たちが神の国を相続することはありません。しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまの情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。

御霊と歩調の合った人々は、真実を語り、真実を受け入れ、真実のために戦って証言するでしょう。御霊と歩調の合わない人々は、自分を欺いているか、別の霊に影響されているかです。御霊を持たない人は、嘘をつくことにも良心が傷まず、真理に対する愛を持っていません。

黙示録 21：8

しかし、おくびょう者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である。

Ⅱ テサロニケ 2：9～11

不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行われます。なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。

偽りの預言を続け、偽りの教理を教え、自分が土台となる使徒であると主張し、偽の癒しを主張して金集めなどをする人々は、最終的に神様から惑わす力に引き渡され、取り返しのつかない裁きが訪れることになるでしょう。

そのように言われているのですから、霊を試すことが必要不可欠なのです。なぜなら、今日、多くの嘘つきが現れ、教会に侵入しているからです。

(訳注)

Sandy Simpson 師： キリスト教界内部の偽教理・偽教師・異端などを警告する「Deception in the Church Ministries」を主催、モリエル・ミニストリーズとは同じ教理的理解に立ち、良き協力関係にあります。

<http://www.deceptioninthechurch.com/page11.html>

サンディ・シンプソン師による原文 2013年9月5日

<http://www.deceptioninthechurch.com/testingthespirits.html>